

16日 空き家問題110番

無料電話相談 司法書士が対応

県青年司法書士協議会が16日、空き家問題に関する電話相談会を開催する。

「空き家問題110番」を聞く。相談は司法書士が対応し、無料。午前10時午後4時、フリーダイヤル0120-448-788で受け付ける。

空き家問題110番は昨年12月以来、今回が2回目。昨年は現在、空き家になっていく。売却または賃貸したい」「将来、転居もしくは死亡すると、住んでいる家が空き家になってしまつた」と、県内各地から44件の電話相談があった。うち3分の2の相談者が60代以上だった。担当する



電話相談会の利用を呼びかける県青年司法書士協議会の宮沢智史前会長(左)と佐藤藤副会長(一県庁で)

おしぼりうどん 坂城町

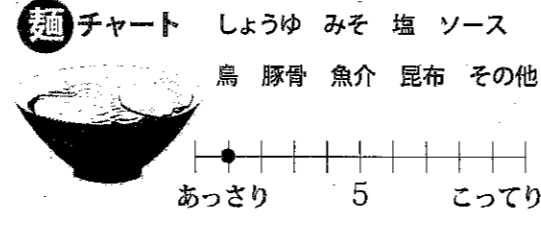


大根の搾り汁(おしぼり)を汁につけて食べる郷土食「おしぼりうどん」。11月15日坂城町中土家の「おしぼりうどん」で

麺食い

列島味便り

信州といえはそば、から親しまれている。といわれるが、うどん、うどんをつけるのは大もつまい。長野市や近根の搾り汁だ。隣の千曲市、坂城町な身にしみて大根からと千曲川流域では「おしぼり」が古く、蕪のこの句(蕪科)が行



は坂城町に滞在した際にこのうどんを食べた。歌んだのでは、と地元ではいわれる。上信越道坂城インターチェンジから車で約3分。地元の辛味大根「ねずみ大根」やリンゴ、柿を育てる畑に囲まれ、おしぼりうどんの店「かいぜ」(坂城町中土家)がある。早速注文すると、湯気がもうもつと立つ釜揚げうどん、ねずみ大根の搾り汁、薬味のみそ、ネギ、カツオ節が運ばれてきた。うどんを搾り汁に絡ませて口に運

ねずみ大根 搾り汁に甘み



ねずみ大根を手に、おしぼりうどんの魅力を語る片山さき子さん

ぶと、大根の強い辛みが広がった。その辛みは少しづつ引き、ほのかな甘みが残る。店を切り盛りする片山さきさん(68)が言う。その甘さを地元では「あまもつくら」と呼びます。「癖になる味」と県外から再びいらっしゃるお客様も多いです。初めて食べて辛さにむせる人もいるが、搾り汁にみそを溶くと辛さが和らぐ。食後は「体が芯から温まる」との評もある。

坂城町ねずみ大根振興協議会によると、おしぼりうどんを町内で食べられる店は、片山さんの「かいぜ」のほか、こっくどーる▽さかき地場産直売所「あいさい」▽信州手打ち十割そば処「良笠庵(りょうちくあん)」▽新田醸造▽食堂みちくさ▽びんぐし

大根関連商品もPR

亭▽びんぐし湯さん館——など。協議会はどうだのほか、切焼耐、ドレッシングなど、ねずみ大根を使った商品のPRにも力を入れている。詳細は協議会のホームページ(<http://nezumi-daikon.com/>)。電話での問い合わせは町商工農林課内の協議会事務局(0268-82-3111内線152)まで。

ねずみ大根は毎年8月ごろに種をまき、収穫の11月ごろは霜が降りるほど寒い。だが大根は凍らないよう内部にでんぷん質を蓄える。これが「あまもつくら」の味を出す秘密になっているのだ。町商工農林課の色部彰悟さん(68)は「おしぼりうどんは11月から年明けの1、2月ごろが一番旬な時期。町一帯にぜひ足を運び、味わってほしい」と話す。

【鈴木健太】 随時掲載

言葉がはずんで歌になる

「言葉がはずんで歌になる」という歌詞を見つけた。歌い出した。知らない曲なのになぜか懐かしい。その理由に気づいた。子どものおしゃべりの言葉のイントネーションが、そのまま旋律になっているんだ！

私は3年前と昨夏の2度、大中さん(左)の指導で彼の作品だけを歌う合唱団「メクメクコール」を募集させていた。歌詞の「なせ」という言葉の持つニュアンスをなんとか音色にしてみました。大中さんは団員たちと話しかけた。「なせ」「誰」「誰」「誰」という言葉が好きです。

8日、東京・靈南坂教会で行われた大中さんの葬儀は音楽に満ち溢れていた。賛美歌と大中作品の合唱。献花の時間に合唱団が「サッチャン」を歌ってくれた。参加者たちも懐かしいメロディーを思わず口ずさむ。さざ波みた

い、歌の輪が教会中に広がった。サッチャンがね とおへいっちゃんうって ほんとかな あんなに物悲しくても、温かい「サッチャン」を初めて聴いた。大切な人の旅立ちを歌で送るとはこういうことなのか、と思った。生涯に2400曲を超える作品を書いた大中さん、亡くなる2日前まで病室で、白い紙に五線を描き、新しいメロディーを生み出すとしていたとい

「言葉がはずんで歌になる」という歌詞を見つけた。歌い出した。知らない曲なのになぜか懐かしい。その理由に気づいた。子どものおしゃべりの言葉のイントネーションが、そのまま旋律になっているんだ！



しらかば帳

今年も雪が降るシーズンを迎え、車のタイヤをスタッドレスに替えた。「これでOK」と思っていたら、それだけでは済まないことになりそう。国土交通省などが今冬から、大雪時に高速道路や国道でタイヤチェーン装着を義務付けるという。指定

チェーン義務化

種類や駆動方式、地域性の違いなどに関係なく、一律にチェーンを義務化するのはいかがなものか。チェーンを用意するかどうか、悩むことになりそう。

【佐久・武田博仁】